

愛知県地域公共交通計画 別紙(令和9年度)(案)の概要

項目	運行予定者名	運行系統名	系統の概要、必要性	関係市町村	目標利用者数(人)			利用促進策	利用促進策の実施主体	事業の効果	計画額(千円)
					9年度	10年度	11年度				
1	名鉄バス㈱	大沼	岡崎市中心部と豊田市南東部を結ぶ路線であり、沿線地域住民の日常生活における移動手段を確保するとともに、岡崎市と豊田市下山エリアの広域路線として必要不可欠である。	岡崎市 豊田市 (旧下山村)	52,390	54,157	55,925	<ul style="list-style-type: none"> ・GTFS化を継続し、google及び交通系経路検索サイトからの路線の案内をする ・路線マップ・時刻表の配布、広報紙やホームページ等を活用したPR ・イベントに出展してバスへのふれあいを通して利用促進に繋げる ・利用実態に応じたダイヤの見直し ・バスの系統をナンバリングし、路線図にも系統表示をして、利用者が分かりやすいようにする ・自治体と事業者が連携して高齢者向けフリーバスをPRする ・め～バス日和(高齢者フリーバス購入者向け情報誌)の発行により、バスの利用でのお出かけを促進する ・発売窓口に行く必要がなく、1日乗車券等を車内でmanacaに付与できる次世代運賃箱が導入され、旅客サービス及び販路拡大に繋がる取り組みを行う 	運行事業者 沿線市町村	東岡崎駅と岡崎市北部地域、豊田市南東部を結ぶ路線が維持され、沿線住民の日常生活の移動手段が確保される。	5,825.5
2	名鉄バス㈱	岡崎・足助	隣接する市域を結ぶ重要な幹線系統であり、移動手段を持たない学生や高齢者の生活交通として必要不可欠である。	岡崎市 豊田市 (旧足助町)	147,201	150,709	154,217	<ul style="list-style-type: none"> ・GTFS化を継続し、google及び交通系経路検索サイトからの路線の案内をする ・路線マップ・時刻表の配布、広報紙やホームページ等を活用したPR ・イベントに出展してバスへのふれあいを通して利用促進に繋げる ・利用実態に応じたダイヤの見直し ・バスの系統をナンバリングし、路線図にも系統表示をして、利用者が分かりやすいようにする ・自治体と事業者が連携して高齢者向けフリーバスをPRする ・め～バス日和(高齢者フリーバス購入者向け情報誌)の発行により、バスの利用でのお出かけを促進する ・発売窓口に行く必要がなく、1日乗車券等を車内でmanacaに付与できる次世代運賃箱が導入され、旅客サービス及び販路拡大に繋がる取り組みを行う 	運行事業者 沿線市町村	隣接する市域を結ぶ重要幹線系統が維持され、地域住民の日常生活における移動手段が確保される。山間地域である足助地区から近隣都市である岡崎市への移動を可能にし、地域の活性化に寄与する。	12,928.5
3	名鉄バス㈱	矢並	豊田市中心部(豊田市駅)と同市東部(旧足助町)を結ぶ重要な幹線系統であり、移動手段を持たない学生や高齢者の生活交通として必要不可欠である。	豊田市 (旧足助町)	114,631	117,727	120,824	<ul style="list-style-type: none"> ・GTFS化を継続し、google及び交通系経路検索サイトからの路線の案内をする ・路線マップ・時刻表の配布、広報紙やホームページ等を活用したPR ・イベントに出展してバスへのふれあいを通して利用促進に繋げる ・利用実態に応じたダイヤの見直し ・バスの系統をナンバリングし、路線図にも系統表示をして、利用者が分かりやすいようにする ・自治体と事業者が連携して高齢者向けフリーバスをPRする ・め～バス日和(高齢者フリーバス購入者向け情報誌)の発行により、バスの利用でのお出かけを促進する ・発売窓口に行く必要がなく、1日乗車券等を車内でmanacaに付与できる次世代運賃箱が導入され、旅客サービス及び販路拡大に繋がる取り組みを行う 	運行事業者 沿線市町村	豊田市駅と同市東部(旧足助町)を結ぶ路線が維持され地域住民の日常生活における移動手段が確保される。香嵐渓の観光地への交通手段として確保される。	15,520.5
4	名鉄バス㈱	岡崎・安城	隣接する市域を結ぶ重要な幹線系統であり、移動手段を持たない学生や高齢者の生活交通として必要不可欠である。	岡崎市 安城市	62,332	64,458	66,584	<ul style="list-style-type: none"> ・GTFS化を継続し、google及び交通系経路検索サイトからの路線の案内をする ・路線マップ・時刻表の配布、広報紙やホームページ等を活用したPR ・イベントに出展してバスへのふれあいを通して利用促進に繋げる ・利用実態に応じたダイヤの見直し ・バスの系統をナンバリングし、路線図にも系統表示をして、利用者が分かりやすいようにする ・自治体と事業者が連携して高齢者向けフリーバスをPRする ・め～バス日和(高齢者フリーバス購入者向け情報誌)の発行により、バスの利用でのお出かけを促進する ・発売窓口に行く必要がなく、1日乗車券等を車内でmanacaに付与できる次世代運賃箱が導入され、旅客サービス及び販路拡大に繋がる取り組みを行う 	運行事業者 沿線市町村	東岡崎駅と安城駅間を結ぶ路線が維持され、地域住民の日常生活における移動手段が確保される。	3,282.0
5	名鉄バス㈱	日進中央	地下鉄・名鉄赤池駅、リニモ長久手古戦場駅を結ぶ基幹交通であるとともに、日進市役所を乗り継ぎ拠点とし、日進市内各方面の主要施設を結ぶ路線である。	日進市 長久手市	124,069	126,486	128,902	<ul style="list-style-type: none"> ・償還サービスの実施 ・GTFS化を継続し、google及び交通系経路検索サイトからの路線の案内をする ・路線マップ・時刻表の配布、広報紙やホームページ等を活用したPR ・イベントに出展してバスへのふれあいを通して利用促進に繋げる ・利用実態に応じたダイヤの見直し ・バスの系統をナンバリングし、路線図にも系統表示をして、利用者が分かりやすいようにする ・自治体と事業者が連携して高齢者向けフリーバスをPRする ・め～バス日和(高齢者フリーバス購入者向け情報誌)の発行により、バスの利用でのお出かけを促進する ・発売窓口に行く必要がなく、1日乗車券等を車内でmanacaに付与できる次世代運賃箱が導入され、旅客サービス及び販路拡大に繋がる取り組みを行う 	運行事業者 沿線市町村	通勤・通学・買物など地域住民の日常生活に必要な不可欠な移動手段が確保されるとともに、日進市・長久手市間の南北の移動需要に対応できる。日進市役所等の交通結節点で乗り継ぐことで、日進市各所への移動手段が確保される。	7,645.5

項目	運行予定者名	運行系統名	系統の概要、必要性	関係市町村	目標利用者数(人)			利用促進策	利用促進策の実施主体	事業の効果	計画額(千円)
					9年度	10年度	11年度				
6	名鉄バス㈱	星ヶ丘・豊田	鉄道駅への接続及び大規模商業施設への移動需要に基づく路線である。 名古屋市への移動手段確保及び地域住民の日常生活における移動手段を確保するために必要である。	日進市 みよし市 東郷町	36,023	37,084	38,145	<ul style="list-style-type: none"> ・GTFS化を継続し、google及び交通系経路検索サイトからの路線の案内をする ・路線マップ・時刻表の配布、広報紙やホームページ等を活用したPR ・イベントに出展してバスへのふれあいを通じて利用促進に繋げる ・利用実態に応じたダイヤの見直し ・バスの系統をナンバリングし、路線図にも系統表示をして、利用者が分かりやすいようにする ・自治体と事業者が連携して高齢者向けフリーバスをPRする ・め～バス日和(高齢者フリーバス購入者向け情報誌)の発行により、バスの利用でのお出かけを促進する ・発売窓口に行く必要がなく、1日乗車券等を車内でmanacaに付与できる次世代運賃箱が導入され、旅客サービス及び販路拡大に繋がる取り組みを行う 	運行事業者 沿線市町村	通勤、通学、買い物等の地域住民の日常生活における移動手段を確保することができる。	2,878.0
7	名鉄バス㈱	一宮・イオン木曾川	旧一宮市と旧木曾川町を運行する地域間幹線系統として、通勤、通学、買い物等の足として利用されており、必要不可欠である。	一宮市 (旧木曾川町)	78,360	80,424	82,488	<ul style="list-style-type: none"> ・CentXのウェブ乗車券 ・GTFS化を継続し、google及び交通系経路検索サイトからの路線の案内をする ・路線マップ・時刻表の配布、広報紙やホームページ等を活用したPR ・イベントに出展してバスへのふれあいを通じて利用促進に繋げる ・利用実態に応じたダイヤの見直し ・バスの系統をナンバリングし、路線図にも系統表示をして、利用者が分かりやすいようにする ・自治体と事業者が連携して高齢者向けフリーバスをPRする ・め～バス日和(高齢者フリーバス購入者向け情報誌)の発行により、バスの利用でのお出かけを促進する ・発売窓口に行く必要がなく、1日乗車券等を車内でmanacaに付与できる次世代運賃箱が導入され、旅客サービス及び販路拡大に繋がる取り組みを行う 	運行事業者 沿線市町村	通勤、通学、買物に利用されている一宮駅から木曾川地域へと至る路線が維持され、地域住民の日常生活における移動手段が確保される。	3,955.0
8	名鉄バス㈱	愛知医科大学病院	リニモ長久手古戦場駅、愛知医科大学病院、名鉄尾張旭駅を結んでおり、それらの駅等は鉄道や他市コミュニティバス等へと接続していることから、沿線住民・利用者の通院・通学、買い物等の日常生活に必要不可欠な路線である。	尾張旭市 長久手市	67,625	69,992	72,358	<ul style="list-style-type: none"> ・GTFS化を継続し、google及び交通系経路検索サイトからの路線の案内をする ・路線マップ・時刻表の配布、広報紙やホームページ等を活用したPR ・イベントに出展してバスへのふれあいを通じて利用促進に繋げる ・利用実態に応じたダイヤの見直し ・バスの系統をナンバリングし、路線図にも系統表示をして、利用者が分かりやすいようにする ・自治体と事業者が連携して高齢者向けフリーバスをPRする ・め～バス日和(高齢者フリーバス購入者向け情報誌)の発行により、バスの利用でのお出かけを促進する ・発売窓口に行く必要がなく、1日乗車券等を車内でmanacaに付与できる次世代運賃箱が導入され、旅客サービス及び販路拡大に繋がる取り組みを行う 	運行事業者 沿線市町村	愛知医科大学病院線の維持により、沿線住民の広域移動及び通院等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。	2,316.0
9	名鉄バス㈱	本地ヶ原	藤が丘駅(名古屋)と尾張瀬戸駅(瀬戸)を結ぶとともに、総合病院(愛知医科大学病院)で他の幹線系統やコミュニティバス等と接続しており、地域住民の日常生活における移動手段を確保するため必要不可欠である。	名古屋市 瀬戸市 尾張旭市 長久手市	120,485	122,306	124,127	<ul style="list-style-type: none"> ・GTFS化を継続し、google及び交通系経路検索サイトからの路線の案内をする ・路線マップ・時刻表の配布、広報紙やホームページ等を活用したPR ・イベントに出展してバスへのふれあいを通じて利用促進に繋げる ・利用実態に応じたダイヤの見直し ・バスの系統をナンバリングし、路線図にも系統表示をして、利用者が分かりやすいようにする ・自治体と事業者が連携して高齢者向けフリーバスをPRする ・め～バス日和(高齢者フリーバス購入者向け情報誌)の発行により、バスの利用でのお出かけを促進する ・発売窓口に行く必要がなく、1日乗車券等を車内でmanacaに付与できる次世代運賃箱が導入され、旅客サービス及び販路拡大に繋がる取り組みを行う 	運行事業者 沿線市町村	コミュニティバス路線と結節し、鉄道駅及び総合病院を結ぶ路線が維持されることにより、地域住民の広域移動や通院等の日常生活における移動手段が確保される。	3,541.5
10	名鉄バス㈱	ふれんどバス①	平成16年3月末で廃止された吉良吉田駅～碧南駅間を結ぶ鉄道代替路線として広域的に鉄道駅へ繋ぐとともに、沿線高校への通学、沿線地域から各地の高校等への通学路線であり、地域住民にとっても日常生活の移動手段として必要である。	碧南市 西尾市	117,050	122,813	128,576	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道や他のバス路線との接続をはかり乗継利便性を向上する ・GTFS化を継続し、google及び交通系経路検索サイトからの路線の案内をする ・路線マップ・時刻表の配布、広報紙やホームページ等を活用したPRを図る ・沿線高校のスケジュールに対応して、適切な運行計画による利便性の向上 ・沿線高等学校の入学説明会等の場で定期券の出張販売や時刻表の配布を行う ・バスの系統をナンバリングし、路線図にも系統表示をして、利用者に分かりやすいようにする ・自治体と事業者が連携して高齢者向けフリーバスをPRする ・め～バス日和(高齢者フリーバス購入者向け情報誌)の発行により、バスの利用でのお出かけを促進する 	運行事業者 沿線市町村	碧南市と西尾市を結ぶ路線の維持により、高校生の通学、沿線地域から鉄道駅への接続に必要不可欠な日常生活の移動手段が確保される。	11,798.0
11	名鉄バス㈱	ふれんどバス②	平成16年3月末で廃止された吉良吉田駅～碧南駅間を結ぶ鉄道代替路線として広域的に鉄道駅へ繋ぐとともに、沿線高校への通学、沿線地域から各地の高校等への通学路線であり、地域住民にとっても日常生活の移動手段として必要である。	碧南市 西尾市	166,603	172,465	178,327	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道や他のバス路線との接続をはかり乗継利便性を向上する ・GTFS化を継続し、google及び交通系経路検索サイトからの路線の案内をする ・路線マップ・時刻表の配布、広報紙やホームページ等を活用したPRを図る ・沿線高校のスケジュールに対応して、適切な運行計画による利便性の向上 ・沿線高等学校の入学説明会等の場で定期券の出張販売や時刻表の配布を行う ・バスの系統をナンバリングし、路線図にも系統表示をして、利用者に分かりやすいようにする ・自治体と事業者が連携して高齢者向けフリーバスをPRする ・め～バス日和(高齢者フリーバス購入者向け情報誌)の発行により、バスの利用でのお出かけを促進する 	運行事業者 沿線市町村	碧南市と西尾市を結ぶ路線の維持により、高校生の通学、沿線地域から鉄道駅への接続に必要不可欠な日常生活の移動手段が確保される。	13,582.0

項目	運行予定者名	運行系統名	系統の概要、必要性	関係市町村	目標利用者数(人)			利用促進策	利用促進策の実施主体	事業の効果	計画額(千円)
					9年度	10年度	11年度				
12	豊鉄バス㈱	伊良湖支線(福祉C掘切)	田原市中心市街地、赤羽根地域及び渥美地域とを結ぶ地域間幹線系統であり、他に移動手段を持たない沿線地域住民の日常生活における移動手段として必要不可欠な路線である。	田原市(旧渥美町)	54,568	54,568	54,568	・パンフレット、広報紙等を利用した利用促進PR ・イベントの開催 ・エコ通勤デー等の実施	運行事業者沿線市町村	田原市中心部、赤羽根地域及び渥美地域をはじめとする地域住民の日常生活に必要な不可欠な移動手段が確保される。	7,670.5
13	豊鉄バス㈱	作手	新城市中心部と作手地区を結ぶ地域間幹線系統であり、移動手段を持たない地域住民の必要不可欠な公共交通機関である。	新城市(旧作手村)	45,937	45,937	45,937	・広報誌への掲載 ・市政番組での紹介 ・バスマップの配布 ・作手地区での路線再編と連携した利用促進策の実施	運行事業者沿線市町村	旧作手村地域住民の必要不可欠な移動手段が確保される。	3,902.0
14	豊鉄バス㈱	田口新城	新城市と旧鳳来町、設楽町を結ぶ地域間幹線系統であり、移動手段を持たない地域住民の必要不可欠な公共交通機関である。	新城市設楽町	48,563	48,563	48,563	・広報誌への掲載 ・新城市ではバスマップ、設楽町では総合時刻表(折りたたみ版)や設楽ダムに 関係する沿線ツアー造成、路線図の作成及び配布を行い利用促進を図る ・田口新城線活性化検討会で協議を行い、利用促進策を実施	運行事業者沿線市町村	新城市中北部、本長篠、玖老勢、海老地域、設楽町田口の地域住民の日常生活に必要な不可欠な移動手段が確保される。	21,911.5
15	豊鉄バス㈱	伊良湖本線(渥美病院休暇村明神)	田原市中心市街地と渥美地域とを結ぶ地域間幹線系統であり、他に移動手段を持たない沿線地域住民の日常生活における移動手段として必要不可欠な路線である。	田原市(旧渥美町)	72,847	72,847	72,847	・パンフレット、広報紙等を利用した利用促進 ・PRイベントの開催 ・エコ通勤デー等の実施	運行事業者沿線市町村	田原市西部、渥美地域を始めとする地域住民の日常生活に必要な不可欠な移動手段が確保される。	10,300.0
16	豊鉄バス㈱	新豊	豊橋市、豊川市、新城市を結ぶ地域間幹線系統であり、移動手段を持たない地域住民の必要不可欠な公共交通機関である。	豊橋市豊川市新城市	153,254	153,254	153,254	・広報誌への掲載 ・地域住民と連携したモビリティマネジメント ・市開催のイベントで利用啓発活動	運行事業者沿線市町村	豊橋市下地・大村地区、豊川市中央部、一宮地区、新城市中 部・西部地区の必要不可欠な移動手段が確保される。	15,713.0
17	豊鉄バス㈱	伊良湖本線(豊橋保美)	豊橋市街地、田原市中心市街地及び渥美地域とを結ぶ地域間幹線系統であり、沿線地域住民の日常生活における移動手段として必要不可欠な路線である。	豊橋市田原市(旧渥美町)	84,965	84,965	84,965	・パンフレット、広報紙等を利用した利用促進PR ・イベントの開催 ・豊橋市主催のイベント等により利用啓発活動を実施	運行事業者沿線市町村	豊橋市の羽根井・中野・磯辺・植田・大清水・老津・杉山校区、並びに田原市中央部及び渥美地域を始めとする地域住民の日常生活に必要な不可欠な移動手段が確保される。	10,552.0
18	豊鉄バス㈱	伊良湖本線(渥美病院田原駅前保美)	田原市中心部と渥美地域とを結ぶ地域間幹線系統であり、他に移動手段を持たない沿線地域住民の日常生活における移動手段として必要不可欠な路線(公共交通機関)である。	田原市(旧渥美町)	52,855	52,855	52,855	・パンフレット、広報紙等を利用した利用促進PR ・イベントの開催 ・エコ通勤デー等の実施	運行事業者沿線市町村	田原市保美地区を始めとする地域住民の日常生活に必要な不可欠な移動手段が確保される。	5,210.0
19	豊鉄バス㈱	豊川(体育館前)	豊橋市と豊川市を結ぶ地域間幹線系統であり、移動手段を持たない地域住民の必要不可欠な公共交通機関である。	豊橋市豊川市	50,543	50,543	50,543	・広報誌への掲載 ・地域住民と連携したモビリティマネジメント ・市開催のイベントで利用啓発活動	運行事業者沿線市町村	豊橋市下地・大村地区、豊川市中央部の必要不可欠な移動手段が確保される。	999.0

項目	運行予定者名	運行系統名	系統の概要、必要性	関係市町村	目標利用者数(人)			利用促進策	利用促進策の実施主体	事業の効果	計画額(千円)
					9年度	10年度	11年度				
20	豊鉄バス㈱	豊川 (イオン病院)	豊橋市と豊川市を結ぶ地域間幹線系統であり、移動手段を持たない地域住民の必要不可欠な公共交通機関である。	豊橋市 豊川市	106,769	106,769	106,769	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌への掲載 ・地域住民と連携したモビリティマネジメント ・市開催のイベントで利用啓発活動 	運行事業者 沿線市町村	豊橋市下地・大村地区、豊川市中央部の必要不可欠な移動手段が確保される。	6,602.0
21	豊鉄バス㈱	豊川 (イオンモール豊川)	豊橋市と豊川市を結ぶ地域間幹線系統であり、移動手段を持たない地域住民の必要不可欠な公共交通機関である。	豊橋市 豊川市	70,321	70,321	70,321	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌への掲載 ・地域住民と連携したモビリティマネジメント ・市開催のイベントで利用啓発活動 	運行事業者 沿線市町村	豊橋市下地・大村地区、豊川市中央部の必要不可欠な移動手段が確保される。	3,588.5
22	豊鉄バス㈱	新名古屋 藤が丘線	名古屋圏と奥三河地域の玄関口である新城市を結ぶ地域間幹線系統であり、新城市在住の学生が名古屋東部圏に多く立地する大学などへの進学、さらには名古屋中心部に勤務する生産年齢人口層が、名古屋圏に転出することなく、新城市に住み続けたまま通学・通勤を可能とし、定住促進を図る路線である。また、本路線で新城市から通学可能な範囲が広がることで、学費以外の経済的負担が抑えられ、高等教育就学の機会を増やす(経済的な理由で進学を諦めることを少なくする)ためにも必要な路線である。 さらには、新城市内には設備の充実した医療機関がないことから、高度な医療が必要で、かつ自家用車による大都市圏までの移動が困難な高齢者が、あらゆる負担(身体的、移動時間的、移動費用的)が少なく、通院することを可能とする本路線は、高齢化が著しい新城市にとって必要不可欠であり、代替えのない路線(公共交通機関)である。	名古屋市 新城市 長久手市	21,270	21,270	21,270	<ul style="list-style-type: none"> ・運行ダイヤの見直しなどによるリピーターの満足度や利便性の向上 ・高校や大学との連携強化及び新規利用者の獲得に向けたキャンペーン等の実施 ・医療機関との連携による通院利用の掘り起こし ・生活利用(市内向け)及び観光利用(市外向け)のPRの強化 ・観光二次交通の確保及び旅行会社と連携した着地型観光の開発と販売 	運行事業者 沿線市町村	新城市(奥三河圏)住民の日常生活(名古屋圏への通学・通勤・通院・買い物など)に必要な不可欠な移動手段が確保されることで、定住促進や持続可能な地域社会の形成に資する。 名古屋圏から新城市(奥三河圏)への観光目的の移動手段としての役割も担い、交流人口の増加による地域活性化及び地域経済の活性化に資する。	9,459.0
23	知多乗合㈱	半田・常滑 (A)	半田市中心市街地と常滑市中心市街地を結ぶ系統で、鉄道駅を利用する通勤通学者の他、沿線の学校への通学の足としても機能している。 半田市内の青山駅や知多半田駅、常滑市内の常滑駅等において、地域内フィーダー路線へ接続しており、地域内の病院や店舗、スーパーなどへの移動手段として、地域住民の日常生活に必要な不可欠な路線である。	半田市 常滑市	68,048	68,048	68,048	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、広報紙への時刻表掲載 ・利用促進PR ・沿線学校との連携を強化 ・半田市内のフィーダー路線(青山・成岩線、半田中央線)や半田北部線との乗り継ぎダイヤの配慮や乗り継ぎ停留所の整備 ・常滑市内のコミュニティバスグループとの乗り継ぎダイヤの配慮 ・半田市及び常滑市における運賃助成制度等の継続 ・半田市内走行区間の運行経費に対して経費欠損補助の実施 	運行事業者 沿線市町村	半田市内及び常滑市内にある主要駅や空港、大型店舗、病院等への移動手段が確保され、半田市民及び常滑市民のくらしの足の確保ができる。	1,650.5
24	知多乗合㈱	半田・常滑 (N)	半田市中心市街地と常滑市中心市街地を結ぶ地域間幹線系統であり、沿線の学校や主要駅等への移動手段として利用されている。 また、半田市内の青山駅や知多半田駅、日本福祉大学、常滑駅等において、地域内フィーダー路線やコミュニティバスへの乗り継ぎにより、地域内の病院や店舗、スーパーなどへの移動手段として地域住民の日常生活における移動手段を確保するために必要である。	半田市 常滑市	59,110	59,110	59,110	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、広報紙への時刻表掲載 ・利用促進PR ・沿線学校との連携を強化 ・半田市内のフィーダー路線(青山・成岩線、半田中央線)や半田北部線との乗り継ぎダイヤの配慮や乗り継ぎ停留所の整備 ・常滑市内のコミュニティバスグループとの乗り継ぎダイヤの配慮 ・半田市及び常滑市における運賃助成制度等の継続 ・半田市内走行区間の運行経費に対して経費欠損補助の実施 	運行事業者 沿線市町村	半田市内及び常滑市内にある主要駅や大型店舗、病院等への移動手段が確保され、半田市民及び常滑市民のくらしの足の確保ができる。 半田市西部から半田市役所等への直通運行をすることにより利便性向上を図る。 常滑駅からスムーズに常滑市役所、知多半島りんくう病院や大型商業施設へ乗り継げるようにすることにより、利便性向上を図る。	4,313.5
25	知多乗合㈱	横須賀(A)	名鉄尾張横須賀駅とJR大府駅を結ぶ路線で、駅を経由して名古屋方面への通勤通学の利用者が多い路線である。 鉄道フィーダー路線として、地域住民にとって必要不可欠な路線である。	東海市 大府市	69,053	69,053	69,053	<ul style="list-style-type: none"> ・バスマップへの路線図、時刻表の掲載によるPR ・市HPに事業者HPのリンクを貼付 ・時刻表に事業者連絡先を掲載 	運行事業者 沿線市町村	沿線地域住民の日常生活に必要な不可欠な鉄道駅までの移動手段となる。 尾張横須賀駅、高橋須賀駅では、東海市循環バスと接続し、大府駅では大府市循環バスと接続していることから、沿線地域住民にとって移動可能区域が大幅に広がることとなる。	3,265.0
26	知多乗合㈱	東ヶ丘団地	知多市・東浦町・阿久比町の境目に位置する名鉄巽ヶ丘駅と東ヶ丘団地(東浦町)を結ぶ路線であり、通勤・通学やお買い物等の移動手段として利用されている。 巽ヶ丘駅前バス停において東浦町運行バス「う・ら・ら」藤江線・新田線、知多市コミュニティ交通「あいあいバス」及び阿久比町循環バス「アグビー号」への乗り継ぎが可能である。また、東ヶ丘地域の多くのバス停において東浦町運行バス「う・ら・ら」藤江線・新田線への乗り継ぎが可能であり、地域内の病院や店舗、スーパーなどへの移動手段など、地域住民の日常生活における移動手段を確保するために必要である。	東浦町 知多市 阿久比町	31,149	31,149	31,149	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、広報紙への時刻表掲載 ・利用促進PRの実施 ・コミュニティバスとの回数券共通利用事業の継続 ・平日昼間の空白時間帯の解消等を目的とした相互乗り入れの継続 ・接続路線との乗継ダイヤの配慮 	運行事業者 沿線市町村	鉄道駅や店舗、病院等への移動手段が確保され、地域住民の「くらしの足」を確保することが出来る。	1,066.5

項目	運行予定者名	運行系統名	系統の概要、必要性	関係市町村	目標利用者数(人)			利用促進策	利用促進策の実施主体	事業の効果	計画額(千円)
					9年度	10年度	11年度				
27	知多乗合線	上野台	JR共和駅と名鉄太田川駅を結ぶ路線で、駅を経由して名古屋方面への通勤通学の利用者が多い路線である。鉄道フィーダー路線として、地域住民にとって必要不可欠な路線である。	大府市 東海市	186,477	186,477	186,477	・HP、広報紙への時刻表掲載 ・利用促進PRの実施 ・沿線学校との連携強化	運行事業者 沿線市町村	鉄道駅や店舗、病院等への移動手段が確保され、地域住民の「くらしの足」を確保することが出来る。	2,090.5
28	知多乗合線	大府	大府市中心市街地と東浦町北部を結ぶ路線であり、国立長寿医療研究センター及びあいち小児保健医療総合センターの通院やげんきの郷への買い物等の移動手段として利用されている。大府駅前バス停において大府市循環バス「ふれあいバス」への乗り継ぎ、げんきの郷及びあいち健康プラザバス停において東浦町運行バス「う・ら・ら」及び大府市循環バス「ふれあいバス」への乗り継ぎにより、地域内の病院や店舗、スーパーなどへの移動手段など、地域住民の日常生活における移動手段を確保するために必要である。	大府市 東浦町	63,343	63,343	63,343	・HP、広報紙への時刻表掲載 ・利用促進PRの実施 ・コミュニティバスとの回数券共通利用事業の継続 ・接続路線との乗継ダイヤの配慮	運行事業者 沿線市町村	鉄道駅や店舗、病院等への移動手段が確保され、地域住民の「くらしの足」を確保することが出来る。	395.0
29	名鉄東部交通線	岡崎・西尾(青野)	岡崎市中心部と西尾市中心部を結ぶ路線であり、沿線住民の日常生活における移動手段を確保するとともに、岡崎市と西尾市の市域間の広域的な移動手段を確保するため必要不可欠である。	岡崎市 西尾市	170,417	173,780	177,143	・公共交通の提供(マップ作成・配布) ・まちづくりとの連携による地域住民の利便性の向上	運行事業者 沿線市町村	沿線住民の日常生活の移動手段が確保される。	15,818.5
30	名鉄東部交通線	岡崎・西尾(西尾市民病院)	岡崎市中心部と西尾市中心部を結ぶ路線であり、沿線住民の日常生活における移動手段を確保するとともに、岡崎市と西尾市の市域間の広域的な移動手段を確保するため必要不可欠である。	岡崎市 西尾市	106,142	108,296	110,451	・公共交通の提供(マップ作成・配布) ・まちづくりとの連携による地域住民の利便性の向上	運行事業者 沿線市町村	沿線住民の日常生活の移動手段が確保される。	7,551.5
31	あおい交通線	勝川駅あいち航空ミュージアム	鉄道駅のない豊山町民にとって、名鉄味美駅、JR勝川駅を利用するために重要な路線であるとともに、他地域から流入する県営名古屋空港や大型商業施設の利用客、三菱重工の従業員にも利用されている。平成20年度に春日井市方面と豊山町をつなぐ路線バスが撤退したため、その代替としても機能している。	春日井市 豊山町	64,000	66,000	68,000	・広報、HPなどによるPR	運行事業者 沿線市町村	豊山町及び春日井市民の生活上の利便性を向上させる。県営名古屋空港へのアクセスを保つことにより、県全体の地域振興に寄与できる。	1,981.5
32	あおい交通線	ふじ線	北名古屋市と清須市を結ぶ路線であり、買い物や沿線病院への移動手段として利用されている。市民の利便性向上及び交通弱者の移動を確保し、移動分野における生活環境を維持するため必要不可欠である。	北名古屋 市 清須市	9,800	10,800	11,900	・バスロケーションシステムの継続運用 ・GTFS-JPからGTFS-RTへの切り替え ・Googleトランジットへの参入 ・隣接自治体の公共交通情報や他の交通事業者の公共交通情報の一元化 ・キャッシュレス決済の継続運用 ・西春駅西口・西春駅東口停留所での乗り換え無料による利用者の負担軽減 ・西春駅西口・西春駅東口停留所で全線同時発着のダイヤ編成による乗り換えの利便性の向上 ・応援企業による、従業員や取引先に向けての公共交通利用促進	沿線市町村	市内各地域から公共施設や商業施設、医療機関等の市内主要拠点への移動手段が確保されるとともに、地域間交通ネットワークとの接続により、市外各地域から市内主要拠点への広域的な移動手段が確保される。	970.5
33	三重交通線	飛島公共交通バス(蟹江線①)	最寄りの主要な鉄道駅である近鉄「蟹江駅」と飛島村を結ぶ路線であり、飛島村をはじめ、沿線の弥富市・蟹江町の住民の通勤・通学者が近鉄への乗り換え利用が多い。飛島村方面行き路線では飛島村外からの通勤利用が多い。地域住民の日常生活に必要不可欠な路線であり、今後も安定継続的に維持確保する必要がある。	弥富市 蟹江町 飛島村	147,880	149,320	150,760	・デジタル定期券・デジタル回数券の導入 ・GTFSの継続 ・バスロケーションシステムの継続 ・フェスタ・マルシェ等の大規模イベントでの啓発	沿線市町村	沿線地域住民等の生活に必要不可欠な移動手段が確保できる。	15,615.5
34	三重交通線	飛島公共交通バス(蟹江線②)	最寄りの主要な鉄道駅である近鉄「蟹江駅」と飛島村を結ぶ路線であり、飛島村をはじめ、沿線の弥富市・蟹江町の住民の通勤・通学者が近鉄への乗り換え利用が多い。飛島村方面行き路線では飛島村外からの通勤利用が多い。地域住民の日常生活に必要不可欠な路線であり、今後も安定継続的に維持確保する必要がある。	弥富市 蟹江町 飛島村	36,720	37,080	37,440	・デジタル定期券・デジタル回数券の導入 ・GTFSの継続 ・バスロケーションシステムの継続 ・フェスタ・マルシェ等の大規模イベントでの啓発	沿線市町村	沿線地域住民等の生活に必要不可欠な移動手段が確保できる。	2,807.5

